

『外科病理学 第5版』

(第1・2刷)

正誤表

本書におきまして、下記の通り記載内容に誤りがございました。訂正してお詫びいたします。

●p.505 表11-10 GISTのModified Fletcher分類 (いわゆるJoensuu分類)

(誤)

リスク分類	腫瘍径 (cm)	核分裂像 (/50HPFs)	原発部位
超低リスク	≤2.0	≤5	—
低リスク	2.1~5.0	≤5	—
中リスク	≤5.0 5.1~10.0	6~10 ≤5	胃
高リスク	—	—	腫瘍破裂あり
	>10.0	—	—
	—	>1.0	
	>5.0	>5	
	≤5.0 5.1~10.0	>5 ≤5	胃以外

(正)

リスク分類	腫瘍径 (cm)	核分裂像 (/50HPFs)*	原発部位
超低リスク	≤2.0	≤5	—
低リスク	2.1~5.0	≤5	—
中リスク	≤5.0 5.1~10.0	6~10 ≤5	胃
高リスク	—	—	腫瘍破裂あり
	>10.0	—	—
	—	>10	
	>5.0	>5	
	≤5.0 5.1~10.0	>5 ≤5	胃以外

*：日本で普及している顕微鏡の接眼レンズ22では対物×40の高倍で20視野に相当する。

『外科病理学 第5版』 (第1刷)

正誤表

本書におきまして、下記の通り記載内容に誤りがございました。訂正してお詫びいたします。

- p.16 右段上から24行目
(誤) 真皮は基底層と
(正) 表皮は基底層と
- p.29 右段上から5～6行目
(誤) staphylococcal toxic epidermal necrosis (S-TEN)
(正) staphylococcal toxic epidermal necrolysis (S-TEN)
- p.35 左段下から6行目
(誤) 緩除に
(正) 緩徐に
- p.49 左段上から10行目
(誤) 淡紡錘形細胞
(正) 短紡錘形細胞
- p.100 左段下から2行目
(誤) 臙毛円柱上皮
(正) 線毛円柱上皮
- p.106 右段1行目
(誤) 異型性母斑
(正) 異形成母斑
- p.109 左段8行目
(誤) 基底膜用物質
(正) 基底膜様物質
- p.116 右段下から2行目
(誤) 類縁形
(正) 類円形

- p.124 左段下から4行目
(誤) PCDLBCL, leg type, other
(正) PCDLBCL, other

- p.128 左段下から2行目
(誤) 表皮の過毛形成
(正) 表皮の過形成

- p.285 図7-73, 74 タイトル
(誤) 石綿肺
(正) 胸膜プラーク

- p.315 表8-8 組織分類新旧比較表 (大分類)
(誤)

肺癌取扱い規約 第7版	肺癌取扱い規約 第8版	WHO 分類 第4版	新規項目	内容変更
前浸潤性病変	腺癌	Adenocarcinoma		○
扁平上皮癌	扁平上皮癌	Squamous cell carcinoma		○
小細胞癌	神経内分泌腫瘍	Neuroendocrine tumour	○	○
腺癌	小細胞癌	Large cell carcinoma		○
大細胞癌	腺扁平上皮癌	Adenosquamous carcinoma		
腺扁平上皮癌	肉腫様癌	Sarcomatoid carcinoma		
多形, 肉腫様あるいは肉腫成分を含む癌	分類不能癌	Others and unclassified carcinoma		○
カルチノイド腫瘍	唾液腺型腫瘍	Salivary gland-type tumours		
唾液腺型癌	乳頭腫	Papillomas	○	
分類不能癌	腺腫	Adenomas	○	○
	間葉系腫瘍	Mesenchymal tumours	○	
	リンパ組織球系腫瘍	Lymphohistiocytic tumours	○	
	異所性起源の腫瘍	Tumours of ectopic origin	○	
	肺転移	Metastases to the lung		

肺癌取扱い規約 第7版と第8版では、疾患名順が異なり、一部の内容も変更されている。第8版とWHO分類 第4版は対応がある。

(正)

肺癌取扱い規約 第7版	肺癌取扱い規約 第8版	WHO 分類 第4版	新規項目	内容変更
前浸潤性病変	腺癌	Adenocarcinoma		○
扁平上皮癌	扁平上皮癌	Squamous cell carcinoma		○
小細胞癌	神経内分泌腫瘍	Neuroendocrine tumour	○	○
腺癌	大細胞癌	Large cell carcinoma		○
大細胞癌	腺扁平上皮癌	Adenosquamous carcinoma		
腺扁平上皮癌	肉腫様癌	Sarcomatoid carcinoma		
多形, 肉腫様あるいは肉腫成分を含む癌	分類不能癌	Others and unclassified carcinoma		○
カルチノイド腫瘍	唾液腺型腫瘍	Salivary gland-type tumours		
唾液腺型癌	乳頭腫	Papillomas	○	
分類不能癌	腺腫	Adenomas	○	○
	間葉系腫瘍	Mesenchymal tumours	○	
	リンパ組織球系腫瘍	Lymphohistiocytic tumours	○	
	異所性起源の腫瘍	Tumours of ectopic origin	○	
	肺転移	Metastases to the lung		

肺癌取扱い規約 第7版と第8版では、疾患名順が異なり、一部の内容も変更されている。第8版とWHO分類 第4版は対応がある。

- p.319 左段10行目
 (誤) Dは腺房型, Eは乳頭型, Fは充実型腺癌と
 (正) Dは充実型, Eは腺房型, Fは乳頭型腺癌と

- p.341 図8-51 説明文2行目
 (誤) Ki-67(MIB1)(b)
 (正) Ki-67(MIB1)(c)

- p.346 図8-60 タイトル
 (誤) 扁平上皮癌(a)と扁平上皮癌
 (正) 腺扁平上皮癌(a)と扁平上皮癌

- p.397 左段下から20行目
 (誤) 地図上壊死
 (正) 地図状壊死

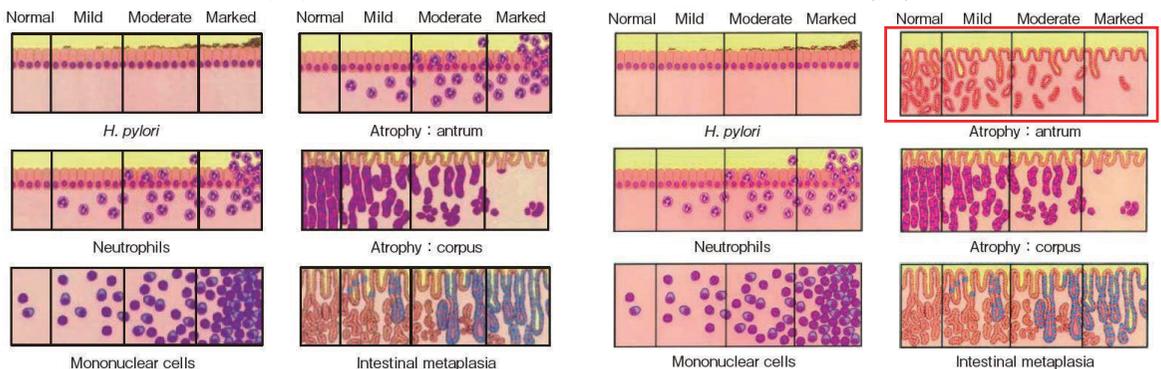
- p.408 左段3行目, 右段1行目
 (誤) 悪性末梢神経腫瘍
 (正) 悪性末梢神経鞘腫瘍

- p.419 左段下から2行目
 (誤) ステイロイド
 (正) ステロイド

- p.420 左段下から5行目
 (誤) ステイロイド
 (正) ステロイド

- p.444 右段21行目
 (誤) H⁺, K⁺-ATPaseによる胃底腺
 (正) H⁺, K⁺-ATPaseによる胃底腺

- p.456 図11-22 Updated Sydney Systemのvisual analoguevisual analogue
 (誤) (正)



- p.457 右段下から12行目
(誤) *H.pylori* 胃炎の併発がなれければ
(正) *H.pylori* 胃炎の併発がなければ
- p.556 右段下から8行目
(誤) 膜
(正) 粘膜
- p.579 左段下から9行目
(誤) SpSA
(正) SuSA
- p.580 右段下から3行目
(誤) 腸管膜デスモイド
(正) 腸間膜デスモイド
- p.589 右段14行目
(誤) 頸部浸潤
(正) 茎部浸潤
- p.595 右段2行目
(誤) 固有層筋層
(正) 固有筋層
- p.596 右段下から2行目
(誤) 下隆脚
(正) 下行脚
- p.598 左段7行目
(誤) colonisation
(正) colonization
- p.599 右段下から6行目, 16行目
(誤) LAMININ
(正) LAMN
- p.600 右段2行目
(誤) 虫垂癌の
(正) 虫垂癌は
- p.601 左段15行目
(誤) 腹膜粘液癌
(正) 腹膜粘液癌症

- p.602 左段2行目
(誤) translational
(正) transitional
- p.602 左段16行目
(誤) 基底細胞様癌で陰性
(正) 基底細胞様癌で陽性
- p.614 図14-2 説明文 1行目
(誤) 小葉の縁
(正) 小葉の縁
- p.643 図14-31 タイトル, 説明文
(誤) 遺伝性出血性末梢血管拡張症 (Osler病) 線維性の壁を有し, 拡張した血管腔を多数みる (telangiectatic ataxia例).
(正) 遺伝性出血性末梢血管拡張症 (Osler病) 疑いの症例 線維性の壁を有し, 拡張した血管腔を多数みる.
- p.653 右段7行目
(誤) 第Ⅷ因子を
(正) 第Ⅷ因子の
- p.660 左段下から5行目
(誤) 類奇形腫型と伴う
(正) 類奇形腫型を伴う
- p.667 左段11行目
(誤) 軟骨
(正) 軟部
- p.684 左段下から21行目
(誤) 外形
(正) 外径
- p.717 図15-83 説明文 2行目
(誤) 移行増
(正) 移行像
- p.717 図15-84 説明文 1行目
(誤) 上皮様細
(正) 上皮様細胞

- p.722 左段下から12行目
(誤) main duct
(正) main **pancreatic** duct

- p.732 左段2行目
(誤) 毛細管
(正) 毛細**血**管

- p.735 左段下から2行目
(誤) 分症
(正) **部**分症

- p.753 左段下から4行目
(誤) ソマトスタチ產生腫瘍
(正) ソマトスタチ**ン**產生腫瘍

- p.754 左段1行目
(誤) 核分化指数
(正) 核分**裂**数

- p.776 図17-13 説明文 1行目
(誤) 中斷はsparsely
(正) 中**段**はsparsely

- p.779 右段12行目
(誤) 粘液器質
(正) 粘液**基**質

- p.779 右段15行目
(誤) 粘液腫瘍
(正) 粘液腫**様**

- p.779 右段20行目
(誤) 他臓器型
(正) **多**臓器型

- p.798 左段下から2行目
(誤) 異所性甲状腺
(正) 異所性**胸**腺

●p.802 表18-7 被包型濾胞性腫瘍の診断 (WHO分類 第4版)

(誤)

浸潤性増殖	あり	濾胞癌	WDC-NOS	濾胞型乳頭癌
	疑い	FT-UMP	WDT-UMP	
	なし	濾胞腺腫	NIFTP	
		あり	疑い	なし
乳頭癌の核所見				

(正)

浸潤性増殖	あり	濾胞癌	WDC-NOS	濾胞型乳頭癌
	疑い	FT-UMP	WDT-UMP	
	なし	濾胞腺腫	NIFTP	
		なし	疑い	あり
乳頭癌の核所見				

●p.812 右段下から1行目

(誤) 被膜浸潤

(正) 血管浸潤

●p.844 表19-1 「Hyperparathyroidism-jaw tumor syndrome」の「副甲状腺病変」の項目

(誤) 過形成, 癌

(正) 腺腫, 癌

●p.868 右段下から14行目

(誤) 蜂巢状

(正) 胞巢状

●p.868 右段下から5行目

(誤) 褐細胞腫

(正) 褐色細胞腫

●p.872 右段下から6行目

(誤) 漿液性

(正) 漿液性

●p.879 右段6行目

(誤) 重炭酸分泌型性

(正) 重炭酸分泌型

●p.890 左段6行目

(誤) 蛍光抗体が偽陽性

(正) 蛍光抗体が偽陰性

- p.906 右段18行目
(誤) 前立肥大
(正) 前立腺大
- p.918 左段6行目
(誤) リンパ増殖性症
(正) リンパ増殖性疾患
- p.946 左段7行目
(誤) 「CK10」
(正) 「CD10」
- p.970 右段7行目
(誤) endosalpingosis
(正) endosalpingiosis
- p.972 左段下から2行目, 右段1行目
(誤) 類上皮肉芽組織
(正) 類上皮(細胞)肉芽腫
- p. 975 右段1行目
(誤) 類上皮肉芽組織
(正) 類上皮(細胞)肉芽腫
- p.985 左段下から15行目
(誤) 尿道脱 urachal relapse
(正) 尿道脱 urethral prolapse
- p.985 右段7行目
(誤) 光彩毛様体炎
(正) 虹彩毛様体炎
- p.988 左段14行目
(誤) 集蔎
(正) 集簇
- p.988 左段18行目
(誤) 薄膜
(正) 白膜
- p.992 右段1行目
(誤) 鞣膜
(正) 漿膜

●p.1047 右段12行目

(誤) 経精管的浸潤

(正) 経射精管的浸潤

●p.1049 左段下から3行目

(誤) hypernephromatoid,

(正) (削除)

●p.1049 右段下から1行目

(誤) する(図25-45). 糸球体様構造とは,

(正) する(図25-45). **ただし, hypernephromatoidという語は現在使用されない傾向にある.**
糸球体様構造とは,

●p.1051 左段4行目, 10行目, 18行目, 下から9行目

(誤) hypernephromatoid,

(正) (削除)

●p.1061 左段13行目

(誤) 経精管的浸潤

(正) 経射精管的浸潤

●p.1081 右段下から1行目

(誤) 円形ない類円形

(正) 円形ないし類円形

●p.1088 表26-4 タイトル

(誤) 扁平上皮癌の前駆病変の歴史的変性

(正) 扁平上皮癌の前駆病変の歴史的変遷

●p.1093 右段15行目

(誤) 上皮線維性ポリープ

(正) 線維上皮性ポリープ

●p.1096 表26-7 ヒトパピローマウイルス (HPV) との関連に基づいた頸部腺癌の国際分類

(誤)

(正)

HPV 関連内頸部腺癌	非 HPV 関連内頸部腺癌
特定不能な粘液性癌	胃型粘液性癌
腸型粘液性癌	明細胞癌
印環細胞型粘液性癌	類内膜癌
浸潤性重層性粘液産生癌	中腎癌
絨毛腺管癌	その他

HPV 関連内頸部腺癌	非 HPV 関連内頸部腺癌
通常型内頸部腺癌	胃型粘液性癌
特定不能な粘液性癌	明細胞癌
腸型粘液性癌	類内膜癌
印環細胞型粘液性癌	中腎癌
浸潤性重層性粘液産生癌	その他
絨毛腺管癌	

- p.1099 右段17行目
(誤) 粘調
(正) 粘稠
- p.1101 左段2行目
(誤) 粘調
(正) 粘稠
- p.1121 図27-18 説明文
(誤) 壁の熱い血管
(正) 壁の厚い血管
- p.1157 左段9行目
(誤) 広がりか……上皮内癌を伴う境界悪性腫瘍とよぶ。
(正) (一文を削除)
- p.1157 表28-4 「明細胞癌」の「組織像」の項目
(誤) 淡明な細胞 鋌釘細胞
(正) 淡明な細胞, 鋌釘細胞
- p.1157 表28-4 「高異型度漿液性癌」の「P53」の項目
(誤) 異常現
(正) 異常発現
- p.1236 表30-11 「良性」の「乳管上皮細胞-筋上皮細胞混合型」の項目
(誤) 多型腺腫
(正) 多形腺腫
- p.1268 表31-1 下から7行目
(誤) 細胞障害因子
(正) 細胞傷害因子
- p.1269 表30-1 「PD-1」の「性状」の項目
(誤) T細胞の死誘導時に発現が増強される遺伝子とみつかかり免疫チェックポイントに関与している。濾胞ヘルパーT細胞や感活化T細胞にみられる
(正) T細胞の死誘導時に発現が増強される遺伝子としてみつかかり免疫チェックポイントに関与している。濾胞ヘルパーT細胞や活性化T細胞にみられる
- p.1269 表31-1 注記
(誤) PNET: 隣神経内分泌腫瘍
(正) PNET: 原始神経外胚葉性腫瘍

- p.1278 左段1行目
(誤) 細胞障害性T細胞
(正) 細胞傷害性T細胞
- p.1281 左段9～10行目
(誤) 濾胞辺縁帯梢細胞リンパ腫やびまん性大細胞型梢細胞リンパ腫
(正) 濾胞辺縁帯 (B細胞) リンパ腫やびまん性大細胞型B細胞リンパ腫
- p.1281 右段下から15行目
(誤) 幼弱化した
(正) 幼若化した
- p.1281 右段下から15行目
(誤) 肝中心には
(正) 胚中心には
- p.1281 右段下から6行目
(誤) 表現系
(正) 表現型
- p.1282 図31-14 説明文 1行目
(誤) 幼弱化した
(正) 幼若化した
- p.1282 図31-14 説明文 1行目
(誤) 肝中心には
(正) 胚中心には
- p.1287 左段下から12行目
(誤) 大型リンパ球
(正) 大型リンパ球様細胞
- p.1289 右段下から2行目
(誤) 好酸菌染色
(正) 抗酸菌染色
- p.1290 左段下から14行目
(誤) 2. 非定型好酸菌リンパ節炎
(正) 2. 非定型抗酸菌リンパ節炎

- p.1290 左段下から10行目, 図31-24 説明文 下から2行目
(誤) 好酸菌
(正) 抗酸菌

- p.1291 図31-26 タイトル
(誤) 非定型好酸菌リンパ節炎
(正) 非定型抗酸菌リンパ節炎

- p.1291 図31-26 説明文 下から3行目
(誤) 好酸菌
(正) 抗酸菌

- p.1302 左段下から1行目
(誤) 幼弱性
(正) 幼若性

- p.1319 図32-53 説明文
(誤) アミロイドーシスの沈着
(正) アミロイドの沈着

- p.1319 右段6行目
(誤) MUGUS
(正) MGUS

- p.1320 右段下から17行目
(誤) 女性化乳房や陰萎縮などの
(正) 女性化乳房などの

- p.1324 左段10行目
(誤) 感染型式
(正) 感染形式

- p.1324 左段12行目
(誤) 多い,
(正) 多く,

- p.1326 右段23行目
(誤) BCL陰性
(正) BCL2陰性

- p.1328 右段下から4行目
(誤) 重視視
(正) 重視
- p.1330 図32-75 図説
(誤) MYC₂ (c)
(正) MYC (c)
- p.1333 表32-5 1行目
(誤) 細細胞傷害性胞傷害性分子陽性型
(正) 細胞傷害性分子陽性型
- p.1336 右段11行目
(誤) evere mosquito bite allergy
(正) severe mosquito bite allergy
- p.1337 右段10行目
(誤) 表現系
(正) 表現型
- p.1338 右段下から3行目
(誤) TIA1など細胞傷害性マーカーのTIA1は
(正) TIA1など細胞傷害性マーカーは
- p.1340 左段2行目
(誤) 非特異型
(正) 非特定型
- p.1340 右段8行目
(誤) 腸間上皮内リンパ球
(正) 腸管上皮内リンパ球
- p.1342 右段下から8行目
(誤) 非特異的な反応性リンパ節炎
(正) 反応性リンパ節炎
- p.1343 左段5行目
(誤) 非特異的な反応性リンパ節炎
(正) 反応性リンパ節炎

- p.1343 右段下から5行目
(誤) anyigen
(正) antigen

- p.1347 左段下から1行目
(誤) 表現系
(正) 表現型

- p.1357 左段2行目
(誤) syncytial variety
(正) syncytial variant

- p.1360 右段3行目
(誤) チオプリン
(正) アザチオプリン

- p.1362 左段4行目
(誤) 南部組織
(正) 軟部組織

- p.1449 左段下から2行目
(誤) 神経好性
(正) 神経向性

- p.1454 左段下から2行目
(誤) mexaon
(正) mesaxon

- p.1456 図35-23, 図35-24の説明文
(誤) mexaon
(正) mesaxon

- p.1458 右段8行目
(誤) 大径有髓先生
(正) 大径有髓線維

- p.1458 右段17行目
(誤) この筋は食道の後面に位置
(正) この筋は喉頭の後面に位置

- p.1459 左段下から11行目
(誤) 鑑別必要
(正) 鑑別に必要

- p.1460 右段3行目
(誤) 多発生単後根神経節炎
(正) 多発性単後根神経節炎
- p.1468 右段1行目タイトル
(誤) D. 採取・肉処理法
(正) D. 採取・肉眼所見・処理法

- p.1491 左段下から7行目
(誤) 骨吸収を行う像や (tunneling resorption) や骨梁
(正) 骨吸収を行う像 (tunneling resorption) や骨梁

- p.1496 右段下から2行目
(誤) 掌蹠膿疱症palmoplantar pustulosis (PPT)
(正) 掌蹠膿疱症palmoplantar pustulosis (PPP)

- p.1539 左段下から1～2行目
(誤) race body
(正) rice body

- p.1497 左段6行目
(誤) しばしばPPTを伴う
(正) しばしばPPPを伴う

- p.1595 左段3行目
(誤) SSR2A
(正) SSTR2A

- p.1626 左段5行目
(誤) 専門施設への依頼できる
(正) 専門施設への依頼ができる

- p.1631 左段下から3行目
(誤) 錯線配列
(正) 錯綜配列

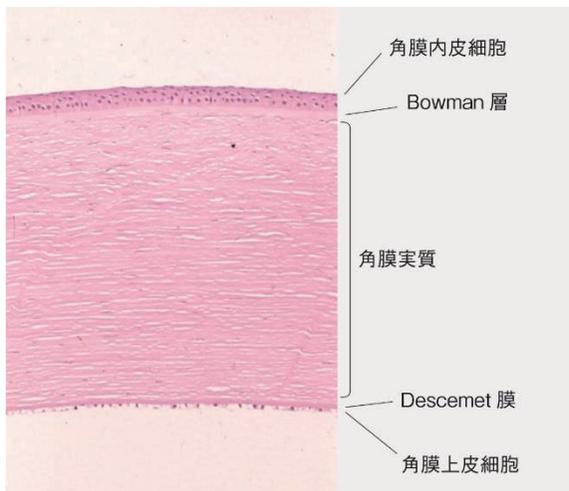
- p.1641 右段9行目
(誤) 自~~性~~例
(正) 自~~性~~~~例~~例

- p.1643 左段12行目
(誤) 未分化多~~型~~肉腫
(正) 未分化多~~型~~~~肉~~形肉腫

- p.1644 図39-24
(誤) 未分化多~~型~~肉腫
(正) 未分化多~~型~~~~肉~~形肉腫

- p.1704 右段下から13行目
(誤) PIC3CA
(正) PIK3CA

- p.1736 図42-1 角膜の組織像
(誤)



(正)

